

特活) 歯科医学教育国際支援機構

ニュースレター 号外 2022年3月

宮田理事長 第50回医療功労賞を受賞

読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、損保ジャパン、アインホールディングスが協賛する今年度の第50回医療功労賞、中央表彰者10名に宮田理事長が選ばれました。

医療功労賞は、山間部や離島、発展途上国など、厳しい環境のもとで長年、地域に密着した活動を続けてきた医療従事者を表彰しています。1983年からは、中央表彰受賞者が例年天皇皇后両陛下に拝謁を賜っている歴史と名誉ある表彰事業です。但し、今回はコロナの影響で拝謁は中止になったそうです。ご存知の通り、このコロナ禍で現地に行くことは叶いませんが、体力の続く限り、支援を続けたいそうです。

2022年(令和4年)3月20日(日曜日) 読売新聞

地域の健康 長年守る

第50回医療功労賞 中央表彰者の10人



歯科医師の育成 カンボジアで30年

【海外部門】 宮田 隆 71 歯科医師

約30年間じたり、カンボジア、い医療を自の当たりとした。やうやうで、歯科医師の育成に力を尽くして来た。カンボジアの国内で、流暢なカンボジア語を話し、当地の文化や生活習慣に精通し、現地の大学で歯学部を創設し、内職の職で職員の多々を養い、授業をこなす。日本の大卒に勝るレベルで、2000年以降、1年半はカンボジアに滞在し、車に必要ない医療器材を積み込み、歯科がない遠地を中心に、カンボジアをまわって診療を行った。現地の住民の歯科、口腔医療の改善に大きく貢献した。歯科医師の教育にも力を入れた。カンボジア政府が認定する歯科専門医を20人以上、育て上げた。まず熱意のある歯科医を10人ほど集めて教え、次は、歯科医自身が後進を育てる。そんな仕組みを作り上げ、「良い環境ができた」と、教える受けた歯科医師たちが現任、カンボジアの歯科医療の中心を担っている。その成果を挙げ、今は歯科医が立ち回っている。今は、歯科医が立ち回っている。今は、歯科医が立ち回っている。今は、歯科医が立ち回っている。

【海外部門】 三好 知明 66 医師
国立国際医療研究センターの外科医として、引当国への医療支援に携わり、主に発展途上の医療支援にあたっている。

【国内部門】 渡部 和男 61 診療放射線技師
体への負担が少なく、的確な診断となる検査を心掛け、医療機器のデジタル化を推進し、医療の質向上に貢献している。

【国内部門】 正田 辰夫 75 歯科医師
歯科がない村に診療室を開設するべく、過疎地や辺境に人々の口元ケアに取り組み、1979/80年に

中央選考委員 (敬称略)
水井 三 (自治医科大学) 首藤 正一 (ライオンホールディングス)
五十嵐 隆 (国立国際医療研究センター) 杉山 英邦 (日本テレビ放送網)
原 孝 (産科医療連携推進機構) 藤田 隆 (読売新聞グループ本社)
正木 隆 (国立国際医療研究センター) 山口 寿一 (読売新聞グループ本社)
藤田 隆 (読売新聞グループ本社) 吉村 秀男 (読売新聞グループ本社)
伊藤 裕人 (厚生労働省医政局)

主編 読売新聞社
後援 厚生労働省

特活) 歯科医学教育国際支援機構 東京都中野区沼袋 1-44-2

TEL: 03-3386-6605 MAIL: oisdetokyo@gmail.com HP: oisde.com